

奔西走



バックナンバーは
「ときどき日記」
にあります
↓QRコード



子ども医療費助成拡充 市民の声が力に

	令和5年9月まで		令和5年10月から		令和6年1月から	
	通院	入院	通院	入院	通院	入院
就学前	無料	無料	無料	無料	無料	無料
小学生	1割	無料	1割	無料	無料	無料
中学生	(3割)	無料	(3割)	無料	1割	無料
高校生	(3割)	(3割)	(3割)	無料	1割	無料

↑子ども医療費助成拡大スケジュール(市資料より)

6月議会で岡山市は、子ども医療費助成の新たな制度拡充を表明しました。

高校入院無料化前倒し

高校生の入院医療費は、来々1月から無料化の予定でしたが、今年10月から前倒し実施になりました(上表)。

給食費値上げ阻止 無償化を求め質問

6月21日、東市議は一般質問に立ち、学校給食費についてたずねました。

給食費値上げなし

2月市議会で、市は当初示していた一食あたり小学生21円、中学生26円余の給食費値上げ案を、異論が

障害や難病治療費も追加

さらに市長は、中学生と高校生の指定難病、小児慢性特定疾病、自立支援医療の治療費を無料にする方針を示しました。当初は来年1月の制度拡充後も、1割負担が残る予定でした。難病や障害児の医療費無



6月議会質問に立つ東市議(6/21)

出る中撤回、「上げる方向ではない」と答弁しました。

しかし、ある学校では給食費値上げの文書が配られ、4月から翌2月までの集金額が4千円増えました。東市議が状況をたずねました。今年度給食費は上

料化は、2月議会で田中のぞみ議員が求め、市長が「実態をよく整理してまたお話ししたい」と答弁していただきました。また4月21日、市民が署名提出の際にも要望(5月版ニュース既報)していましたが、風邪など他の医療は無料化の対象外です。さらなる制度拡充へ、市民の声と運動が大事です。

がらない想定だという答弁でした。ただ、それぞれの学校でどう徹底させるかはあいまいな答弁でした。

広がる無償化を岡山市も

来年度から「公会計化」で給食費が平準化されます。学校毎に異なる燃料費は、安いところが他の分を負担することはダメという答弁でした。

東市議は全国的に広がっている給食費無償化も求めましたが、国の動きを見るが市としては動かないという姿勢のままでした。

気候危機に対抗する市政を

G7では、石炭火力発電の全廃期限の明記が見送りになりました。議長国の日本の意向だといえます。気候危機への対応がこれでいいのか問われます。重要なのは再エネと省エネです。

再エネ普及にルールを

再生可能エネルギーについて県は、「促進区域に含めない区域」等を定めるとし、5月10月に市町村などに意見を聞く予定です。東市議は、以前市議会で北区大井地区のメ

ガソーラー建設反対運動がとりあげられたことをあげ、住民の声を県に伝えることを求めました。市は、県の動きがまだないという受け身の答弁でした。再生可能エネルギーは重要ですが、設置にはルールが必要で

住宅省エネの補助改善を

岡山市は住宅用スマートエネルギー導入促進補助事業で太陽光発電、蓄電池、窓断熱などを推進しています。ただ、予算を使い切ったら受付を終

了するため、補助金がもらえないケースが出ました。東市議は改善策をただしました。東市議は、少ない予算の中でやりくりする程度の答弁しかありませんでした。東市議は、世界的に見れば日本の住宅省エネ

	断熱性能(UA)
日本省エネ基準	0.87
日本 ZEH	0.60
アメリカ	0.43
イギリス	0.42
ドイツ	0.40
フランス	0.36
とっとり健康省エネ住宅	0.48~0.23

各国の断熱基準(低いほど省エネ) (鳥取県資料より)

基準は低く、充実は急務であり、申請が多ければ補正予算を組んでも対応することを求めました。

県営住宅では改修の際に断熱化も行います。東市議は、市営住宅の改修や建て替えの際に省エネを進めることを求め、答弁は前向きでした。

ひつじと

エキチカ広場の「岡山市民平和祭」で、戦時中作られた備前焼手りゅう弾などを見ました。また第25回の「平和七夕祭り」が7月19日まで開催中。平和を願う折り鶴が表町商店街を彩ります。岸田政権が軍備拡大、戦争する国づくりを進める中、草の根の平和の声に希望が見えます。(東つよし)



質問削減に反対 市民の声をせばめるな

6月議会初日の6月12日、質問時間を削減する議会「改革」の一環の条例案が議員発議で出され、即日採決、賛成多数で可決されました。東市議が反対の討論に立ち、日本共産党の4人と、新会派「みらいえ」の5人が反対しました。議員が個人で行う質問は、今まで一人20分だった

のが、今後は2月議会以外、一括質問形式で15分、一問一答形式で10分にまで減らされました。代表質問も7人以下の会派の時間は減り、常任委員会に時間制限が導入されました。市政をチェックするのが議会の役割です。質問時間削減で減らされるのは市民の声です。

